

## 第5回

日時：2009.11.10

場所：横浜市工業技術支援センター

### 14:00 ペーパープロトタイピングについて

<30分>

「ペーパープロトタイピング」の目的と商品開発での「ペーパープロトタイピング」の活用方法について説明した後、各社ごとの「ペーパープロトタイピング」の制作方法についてアドバイスをを行います。

### 14:30 ペーパープロトタイプ制作

<100分>

各社ごとに「ペーパープロトタイピング」の制作を行います。  
※途中 15:30 に休憩を1回入れます。

### 16:20 各社進捗状況説明：セッション

<30分：各社10分>

各社ごと進捗状況を発表していただきます。

### 16:50 本日のまとめ

<10分>

今回の作業の説明と準備についての話をします。

17:00 終了

## ペーパープロトタイプの制作手順

1. 前回のアイデアをもとに、  
模造紙の上に三面図を原寸で記入。

2. 厚紙に簡単な展開図を描きます。

3. はさみで切り、立体にします。

4. 必要があれば、  
操作盤などをペンで手描きします。

## ペーパープロトタイプとは

商品やWebサイトなど  
ハード・ソフトのアイデアを  
紙などを活用して  
ユーザーの視点より  
視覚化したプロトタイプのこと。

## ペーパープロトタイプの目的

それを使用するユーザーを考慮したシナリオに基づいて、  
操作や行為、使い勝手などを確認するのに用いる。

アイデアを短時間に視覚化し

「操作や行為、使い勝手」などが分かるものを作る

→ユーザー視点からの評価をする

→修正するを繰り返す

それにより、アイデアをまとめあげることが目的とする。

## ペーパープロトタイプの方法

画面の変化や形状の変化などに対応した

多くのプロトタイプを作ることと、

原寸・立体で作ることが重要である。

## ペーパープロトタイプのメリット

- ☑ 最小の労力による最大のフィードバックの手法
- ☑ 開発プロセスの早い段階で、ユーザーからのフィードバックを得られる
- ☑ 数多くのアイデアを試すことが出来る
- ☑ 繰り返し素早く別の案を試すことが出来る
- ☑ 専門的なスキルを必要としないので、さまざまな分野のチームが協力し合える
- ☑ 開発チーム内、さらに開発チームとユーザーとのコミュニケーションが活性化される
- ☑ 商品開発のプロセスにおいてアイデアが出やすい

## ペーパープロトタイプの活用

- ペーパープロトタイプによるアイデア展開
- ペーパープロトタイプによるアクティングアウト
- ペーパープロトタイプによるウォークスルー
- ペーパープロトタイプによるユーザー評価